



2019年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年7月5日

上場会社名 暁飯島工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 1997 URL <http://www.eazima.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 荻津 仁彦
 問合せ先責任者 (役職名) 管理統括部長 (氏名) 藤沼 一男 (TEL) 029-244-5111
 四半期報告書提出予定日 2019年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年8月期第3四半期の業績 (2018年9月1日～2019年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年8月期第3四半期	5,664	22.5	641	60.2	636	52.4	435	43.2
2018年8月期第3四半期	4,622	△21.8	400	△42.7	417	△41.5	304	△37.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2019年8月期第3四半期	219.92		—					
2018年8月期第3四半期	153.61		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年8月期第3四半期	8,705	4,418	50.8
2018年8月期	8,963	4,087	45.6

(参考) 自己資本 2019年8月期第3四半期 4,418百万円 2018年8月期 4,087百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年8月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2019年8月期	—	0.00	—	—	—
2019年8月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年8月期の業績予想 (2018年9月1日～2019年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,500	7.8	700	14.4	690	10.3	470	22.3	236.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2019年8月期3Q	2,200,000株	2018年8月期	2,200,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2019年8月期3Q	217,772株	2018年8月期	217,770株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2019年8月期3Q	1,982,228株	2018年8月期3Q	1,982,230株
------------	------------	------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び売上の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融緩和政策を背景に企業収益及び雇用環境が底堅く推移するなど緩やかな景気の回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費の伸び悩み、米中貿易摩擦、英国のEU離脱及び地政学的リスクなど、景気の先行きは不透明感が残る状況が続いております。

建設業界におきましては、政府建設投資及び民間建設投資は一定の水準を維持しておりますが、慢性的な技術労働者不足と建設資材の価格高騰に伴う建設コストの上昇により受注競争が激化し、依然として厳しい経営環境が続いております。また、長時間労働等、働き方改革及び生産性向上への取り組みは業界全体での課題となっております。

このような状況のもと、当社は引き続き工事利益率及び営業利益率の向上を目標に、受注時採算性の強化、原価管理及び施工管理の徹底、諸経費削減などの諸施策を実施してまいりました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、受注高は前年同四半期比18.6%減少の42億41百万円となりましたが、売上高は前年同四半期比22.5%増加の56億64百万円となりました。

損益面におきましては、売上高の増加及び工事利益率の向上などから、営業利益は前年同四半期比60.2%増加の6億41百万円、経常利益も同じく52.4%増加の6億36百万円となりました。最終損益につきましても、前年同四半期比43.2%増加の4億35百万円の四半期純利益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(設備事業)

設備事業の受注工事高は前年同四半期比18.6%減少の42億41百万円となりました。完成工事高は前年同四半期比22.5%増加の56億25百万円となり、営業利益は前年同四半期比35.6%増加の8億15百万円となりました。

(太陽光発電事業)

太陽光発電事業の売上高は前年同四半期比30.4%増加の38百万円となり、営業利益は前年同四半期比140.2%増加の14百万円となりました。

(その他事業)

その他事業の売上高は前年同四半期比5.6%増加の0百万円となり、営業利益は前年同四半期比11.3%増加の0百万円となりました。

なお、各セグメントに配分していないセグメント損益の調整額は、全社費用の1億89百万円であり、主に各セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期会計期間における資産は、前事業年度末に比べ2億57百万円減少し、87億5百万円となりました。その要因は、主に売上債権が1億76百万円、有形固定資産が2億65百万円それぞれ増加したものの、JV出資金による立替金が6億4百万円減少したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ5億88百万円減少し、42億87百万円となりました。その要因は、主に仕入債務が3億43百万円、有利子負債が3億7百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、純資産は、前事業年度末に比べ3億30百万円増加し、44億18百万円となりました。その要因は、主にその他有価証券評価差額金が45百万円減少したものの、四半期純利益の計上に伴う利益剰余金が3億76百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、19百万円減少し、42億6百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益を計上し、仕入債務が減少し、売上債権も増加したものの、JV出資金による立替金の減少などから7億38百万円の収入超過（前年同四半期は3億91百万円の収入超過）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得(太陽光発電設備関連)及び投資有価証券の取得などから3億91百万円の支出超過（前年同四半期は8百万円の支出超過）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の約定返済及び配当金の支払いなどから3億66百万円の支出超過（前年同四半期は2億52百万円の支出超過）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年8月期の業績予想につきましては、2018年10月12日の「平成30年8月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」で公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2019年7月5日）発表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	4,240,477	4,219,845
受取手形・完成工事未収入金等	980,648	1,156,710
未成工事支出金	120,823	106,801
その他	763,028	75,529
貸倒引当金	△13,780	△16,110
流動資産合計	6,091,198	5,542,777
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	948,915	1,188,844
減価償却累計額	△693,394	△707,121
建物・構築物(純額)	255,521	481,722
機械及び装置	168,171	459,225
減価償却累計額	△35,888	△50,457
機械及び装置(純額)	132,283	408,768
土地	1,868,153	1,868,153
その他	260,396	21,094
減価償却累計額	△16,721	△14,970
その他(純額)	243,674	6,124
有形固定資産合計	2,499,632	2,764,768
無形固定資産	18,171	19,794
投資その他の資産		
投資有価証券	301,893	337,347
繰延税金資産	34,267	20,525
その他	105,149	97,973
貸倒引当金	△86,420	△77,200
投資その他の資産合計	354,891	378,645
固定資産合計	2,872,694	3,163,208
資産合計	8,963,892	8,705,986

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年8月31日)	当第3四半期会計期間 (2019年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	2,331,372	1,988,002
短期借入金	680,000	380,000
1年内返済予定の長期借入金	189,680	240,040
1年内償還予定の社債	80,000	100,000
未払法人税等	42,915	99,398
未成工事受入金	497,306	409,741
完成工事補償引当金	2,630	3,040
賞与引当金	82,360	32,950
役員賞与引当金	14,280	—
その他	54,047	207,913
流動負債合計	3,974,591	3,461,086
固定負債		
社債	190,000	200,000
長期借入金	622,520	534,990
退職給付引当金	87,280	89,186
その他	1,785	2,088
固定負債合計	901,586	826,264
負債合計	4,876,177	4,287,350
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,408,600	1,408,600
資本剰余金	3,705	3,705
利益剰余金	2,863,684	3,240,149
自己株式	△178,070	△178,073
株主資本合計	4,097,919	4,474,381
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,204	△55,746
評価・換算差額等合計	△10,204	△55,746
純資産合計	4,087,715	4,418,635
負債純資産合計	8,963,892	8,705,986

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
売上高		
完成工事高	4,592,219	5,625,538
その他の事業売上高	30,133	39,072
売上高合計	4,622,353	5,664,610
売上原価		
完成工事原価	3,867,016	4,678,659
その他の事業売上原価	23,609	23,933
売上原価合計	3,890,625	4,702,593
売上総利益	731,727	962,017
販売費及び一般管理費		
従業員給料及び手当	120,798	128,983
賞与引当金繰入額	9,010	10,370
退職給付費用	7,726	7,324
貸倒引当金繰入額	—	2,330
その他	193,744	171,389
販売費及び一般管理費合計	331,279	320,398
営業利益	400,448	641,618
営業外収益		
受取利息	1,619	1,380
受取配当金	5,518	2,689
投資有価証券売却益	4,390	—
仕入割引	2,041	1,362
受取地代家賃	6,498	6,392
貸倒引当金戻入額	13,670	9,219
その他	9,370	4,279
営業外収益合計	43,108	25,324
営業外費用		
支払利息	14,249	15,898
投資有価証券売却損	1,493	3,098
投資有価証券評価損	2,705	6,466
その他	7,464	4,831
営業外費用合計	25,913	30,294
経常利益	417,642	636,648
特別利益		
投資有価証券売却益	36,137	—
特別利益合計	36,137	—
特別損失		
有形固定資産売却損	43	—
減損損失	3,961	—
特別損失合計	4,005	—
税引前四半期純利益	449,774	636,648
法人税、住民税及び事業税	110,264	186,974
法人税等調整額	35,014	13,742
法人税等合計	145,279	200,716
四半期純利益	304,495	435,931

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年9月1日 至2018年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年9月1日 至2019年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	449,774	636,648
減価償却費	30,291	33,819
減損損失	3,961	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,670	△6,889
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△630	410
賞与引当金の増減額(△は減少)	△75,720	△49,410
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,400	△14,280
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,891	1,905
受取利息及び受取配当金	△7,137	△4,070
支払利息	14,249	15,898
投資有価証券売却損益(△は益)	△39,033	3,098
有形固定資産売却損益(△は益)	43	—
投資有価証券評価損益(△は益)	2,705	6,466
売上債権の増減額(△は増加)	671,326	△168,825
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△35,956	14,021
仕入債務の増減額(△は減少)	△492,039	△343,370
未成工事受入金の増減額(△は減少)	545,482	△87,565
未収消費税等の増減額(△は増加)	△12,495	96,225
未払消費税等の増減額(△は減少)	△155,877	52,602
その他	△174,076	692,760
小計	693,692	879,444
利息及び配当金の受取額	7,166	4,069
利息の支払額	△13,723	△16,226
法人税等の支払額	△295,244	△128,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	391,889	738,647
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有形固定資産の取得による支出	△30,863	△295,626
有形固定資産の売却による収入	92	—
無形固定資産の取得による支出	△4,870	△6,050
投資有価証券の取得による支出	△70,144	△99,790
投資有価証券の売却及び償還による収入	102,997	5,215
その他	△5,439	3,849
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,226	△391,403
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△150,000	△300,000
長期借入れによる収入	150,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△188,080	△237,170
社債の発行による収入	100,000	100,000
社債の償還による支出	△75,000	△70,000
自己株式の取得による支出	—	△2
配当金の支払額	△89,765	△59,703
財務活動によるキャッシュ・フロー	△252,845	△366,875
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	130,817	△19,631
現金及び現金同等物の期首残高	3,473,884	4,226,477
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,604,702	4,206,845

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

3. 補足情報

(1) 受注及び売上の状況

①受注実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2018年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	3,088,787	59.3	1,937,502	45.7	△1,151,285	△37.3	4,079,067	48.8
リニューアル工事	1,850,620	35.5	2,040,234	48.1	189,614	10.2	3,949,720	47.2
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	271,848	5.2	263,299	6.2	△8,548	△3.1	330,777	4.0
設備事業合計	5,211,256	100.0	4,241,036	100.0	△970,220	△18.6	8,359,566	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

②売上実績(累計)

区分	前第3四半期累計期間 (自 2017年9月1日 至 2018年5月31日)		当第3四半期累計期間 (自 2018年9月1日 至 2019年5月31日)		増減 (△は減)		(参考) 前事業年度 (2018年8月期)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減率 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
設備事業								
建築設備工事	2,693,446	58.3	2,624,297	46.3	△69,149	△2.6	4,029,734	57.9
リニューアル工事	1,654,851	35.8	2,757,379	48.7	1,102,528	66.6	2,557,671	36.8
土木工事	—	—	—	—	—	—	—	—
プラント工事	—	—	—	—	—	—	—	—
ビルケア工事	243,921	5.3	243,861	4.3	△60	△0.0	324,028	4.7
設備事業合計	4,592,219	99.4	5,625,538	99.3	1,033,318	22.5	6,911,435	99.4
その他の事業								
太陽光発電事業	29,233	0.6	38,122	0.7	8,888	30.4	41,629	0.6
不動産事業	900	0.0	950	0.0	50	5.6	1,200	0.0
その他の事業合計	30,133	0.6	39,072	0.7	8,938	29.7	42,829	0.6
合計	4,622,353	100.0	5,664,610	100.0	1,042,257	22.5	6,954,264	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。